

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	議会運営支援事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>新型コロナウイルス感染症まん延等により、従来型の議会運営方法や議会活動が難しい状況において、ICTを活用し、平時も有事も円滑に議会運営ができるよう調査研究し、その手法を提示して活発な議会活動に反映するもの。 審議・審査、市民との意見交換会、議員研修会等開催のための資料収集整備やファシリテート、先進地事例調査、ICT環境の整備、政務活動費事務、行政視察連絡調整を実施するもの。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
オンラインを用いた委員会や議会事業数	回	40	55	58	60

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
通年 ICTを活用した事業実施とサポート	通年において、ICTフォローアップ研修の実施によりタブレット等の技術向上を図るとともに、オンラインを用いた事業のサポートを実施した。	B (概ね予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	従前の議会運営と併せてオンラインやICTを用いても議会運営・議会活動ができるように調査研究を継続し、平時でも有事であっても円滑な運営・活動ができるようにする。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			R4年度増加の見込みは、政務活動費の返納額減少が見込まれるため。	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,073	4,561		8,215
事業費計(A)	6,073	4,561	8,215	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	デモテック戦略四者協定により、タブレット内書棚システム及び採決表示システムアプリを無償貸与。(令和5年度末までの予定) また、議場内カメラ機器一式、オンラインビデオ会議時のAI字幕システム等を音声テック協定により無償提供され、委員会や市の各種オンライン事業等でも利用している。	
	業務時間	4,934	4,004		3,968
	その他職員人件費				
人件費計(B)	15,730	12,697	12,567		
トータルコスト(A+B)	21,803	17,258	20,782		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	議会情報発信の充実事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>議会の審議概要・結果や開会中、閉会中を問わず、議会活動を広く市民に情報を提供する。</p> <p>①音声認識システムを用いて会議録等を作成。市ホームページには、本会議会議録を閉会后約1週間程度で速報版を掲載。また、提出議案や委員会記録も掲載。②本会議映像配信は、無料動画配信サイトを利用したライブ配信のほか録画配信も実施。③議会だより「ひびき概要版」を発行し、希望者や広報とりで同封による直接郵送。また、市議を経由しての市民への発信、市内公共施設・駅・郵便局・一部スーパーに配置。④「取手市議会・議会事務局Facebookページ」「ひびきメール」により積極的に情報発信し、フォロー数や登録者数を増やす。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
市議会インターネット配信視聴回数	回	24,560	29,974	30,500	31,000
〃 チャンネル登録数	件	126	357	400	450
Facebookページフォロー数	件	517	625	700	800
会議録検索システムアクセス数	件	10,727	11,656	12,000	12,500
ひびきメール登録数	件	1,119	1,467	1,550	1,650

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
議会や委員会開催前後、議会活動の都度、発信	<p>成果指標のすべてが目標値を超える値となった。特に市議会インターネット配信視聴回数やチャンネル登録数は大幅に増加した。市議会Facebookページフォロー数やひびきメール登録数も着実に増加したため、全ての目標値を上方修正した。各種情報発信事業の積極的周知を実施したことや、360度カメラによる配信、ICTやオンラインを用いた取り組みで全国的な注目を集めたことにより増加している。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	Facebookページのフォロー数及びひびきメール登録数など、引き続き、議会が発信する情報利用者の増加を進めていくとともに、ウェブを中心に情報を発信していく。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				R2年度から10ページ構成ひびき発行を廃止し、A3両面カラー印刷の概要版に変更。また、新聞折り込みによる配布を廃止。R4年度から、会計年度任用職員給与等経費が人事課から移管のため増額。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,020	2,037	2,851	
事業費計(A)	2,020	2,037	2,851	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	7	音声テック協定に基づき官民連携による、新しい情報発信ツールによる試行実施。
	業務時間	9,198	8,890	8,838	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	29,323	28,190	27,990		
トータルコスト(A+B)	31,343	30,227	30,841		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	デモテック戦略事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>官民学連携によるデモテック戦略事業を令和2年度から締結して推進している。完全オンライン・一部オンラインによる模擬議会の開催などにより、新しい民主主義や議会創造のため、ICTを活用した新たな議会運営・ルールづくりの調査研究を実施する。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
官民学等連携によるデモテック推進セミナー等の開催・協力	回	2	2	2	2
デモテックに関するオンライン視察受入・研修講師	回	18	41	45	50

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>通年 オンライン本会議用の会議規則案策定に向けた模擬本会議・委員会の実施やデモテック戦略特別委員会および全国に活動の目的や理解を広めるための研修会への協力</p>	<p>オンライン模擬本会議開催により、オンラインでの議事運営における課題の抽出、課題解決策を見出している。大きな課題としては議場内選挙運営がある。取手市議会のデモテックの取り組みは視察受け入れのみならず、協定関係者による各種セミナー開催時に議長はじめ市議や議会事務局職員が登壇し、全国の地方議員や行政関係者等に周知している。</p>	<p>B (概ね予定どおり進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	協定関係者によるシステム開発はじめ、新しい手法の模擬や関係者との情報共有、協議を密に実施して創造していく。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			事業費は協定関係者を参考人として出席した際の費用弁償等経費。令和4年度は3人×2回見込む。	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	17	17		34
事業費計(A)	17	17	34	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	官民学連携によるデモテック戦略事業(ICTを活用した新たな議会運営・ルールづくり)を実施。	
	業務時間	360	240		240
	その他職員人件費				
人件費計(B)	1,148	761	760		
トータルコスト(A+B)	1,165	778	794		